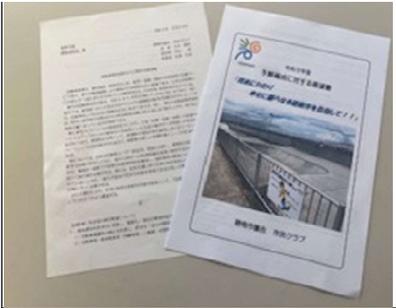


産業目線

【活動項目】②企業誘致	【活動テーマ】 新たな産業地周辺のインフラ整備促進と住宅地の確保													
<p>到達目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年10月に策定した都市計画マスタープランで農地から工業用地に変更することができたものの、民間主導の開発となったことにより道路や下水等のインフラ整備が遅れているため、事業化に向けて目処をつける。 農地から住宅地へ位置付けられた場所の開発時期の明確化を図る。 													
<p>前回まで 活動状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 以前より新たな工業用地を提言してきたが、令和元年度策定の都市計画マスタープランの改訂において、碧南市北部に新たな“産業地”・“住宅地”として位置付けられた。 しかし、事業化に向けた検討段階に入るタイミングでの新型コロナウイルスの蔓延により、事業化に向けた計画は遅延しており、進出を検討していた民間企業は慎重になっている。 													
<p>今回 具体的活動</p> <p>今回の進捗 【○】</p> <p>◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり</p>	<p>《会派による要望書を提出！》 令和2年9月24日(木) 市長に対し、令和3年度の予算編成に対する要望書を提出した。</p> <p>【産業地】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要望内容：就労する場の確保 具体的内容：北部工業団地の造成推進 取り上げた理由 本市に働く人が住み続けるまちを目指すには、企業が持続的に発展する必要があり、北部工業団地を官民一体となって早期に開発・造成し、新たな企業を呼び込む必要がある。 <p>【住宅地】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要望内容：新たな住民の確保 具体的内容：新たな住宅地の確保 取り上げた理由 北部工業団地の整備が始まり、新たな雇用が生まれる事になる。労働者が碧南市に住んでもらえる様、新たな工業用地の整備と並行して住宅地の整備を早期に行う必要がある。 <p>※回答は令和3年2月末で要望</p> <div data-bbox="1153 786 1529 1321"> <p>3. 市民と共に発展するまちづくり</p> <p>碧南市の人口を維持するためには、碧南市に住み続けていただくとともに、新たな住民を確保、そして就労する場所が提供できる環境づくりが必要である。</p> <table border="1"> <tr> <td>要望内容</td> <td>就労する場の確保</td> </tr> <tr> <td>具体的内容</td> <td>① 北部工業団地の造成推進 ② 女性が活躍できる環境づくり</td> </tr> <tr> <td>取り上げた理由</td> <td>① 本市に働く人が住み続けるまちを目指すには、企業が持続的に発展する必要があり、北部工業団地を官民一体となって早期に開発・造成し、新たな企業を呼び込む必要がある。 ② 育児・介護離職に追い詰められるのを防ぐため、児童・子育て支援施設を整備・整備できる必要がある。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>要望内容</td> <td>新たな住民の確保</td> </tr> <tr> <td>具体的内容</td> <td>① U・I・Jターン者への支援 ② 定住促進に向けた支援 ③ 新たな住宅地の確保</td> </tr> <tr> <td>取り上げた理由</td> <td>① 構外に進学した若者が帰郷碧南市に就いてもらう様、碧南市の就職情報の充実、女性の活躍促進の公開など、地元で就職してもらう施策が必要である。 ② 碧南市で結婚・定住してもらうにも、新たな住宅地の早期開発やマンション建設の奨励、定住しやすくなる施策が必要である。 ③ 北部工業団地の整備が始まり、新たな雇用が生まれる事になる。労働者が碧南市に住んでもらえる様、新たな工業用地の整備と並行して住宅地の整備を早期に行う必要がある。</td> </tr> </table> </div>	要望内容	就労する場の確保	具体的内容	① 北部工業団地の造成推進 ② 女性が活躍できる環境づくり	取り上げた理由	① 本市に働く人が住み続けるまちを目指すには、企業が持続的に発展する必要があり、北部工業団地を官民一体となって早期に開発・造成し、新たな企業を呼び込む必要がある。 ② 育児・介護離職に追い詰められるのを防ぐため、児童・子育て支援施設を整備・整備できる必要がある。	要望内容	新たな住民の確保	具体的内容	① U・I・Jターン者への支援 ② 定住促進に向けた支援 ③ 新たな住宅地の確保	取り上げた理由	① 構外に進学した若者が帰郷碧南市に就いてもらう様、碧南市の就職情報の充実、女性の活躍促進の公開など、地元で就職してもらう施策が必要である。 ② 碧南市で結婚・定住してもらうにも、新たな住宅地の早期開発やマンション建設の奨励、定住しやすくなる施策が必要である。 ③ 北部工業団地の整備が始まり、新たな雇用が生まれる事になる。労働者が碧南市に住んでもらえる様、新たな工業用地の整備と並行して住宅地の整備を早期に行う必要がある。	 <p>【令和2年9月24日要望書提出】</p>
要望内容	就労する場の確保													
具体的内容	① 北部工業団地の造成推進 ② 女性が活躍できる環境づくり													
取り上げた理由	① 本市に働く人が住み続けるまちを目指すには、企業が持続的に発展する必要があり、北部工業団地を官民一体となって早期に開発・造成し、新たな企業を呼び込む必要がある。 ② 育児・介護離職に追い詰められるのを防ぐため、児童・子育て支援施設を整備・整備できる必要がある。													
要望内容	新たな住民の確保													
具体的内容	① U・I・Jターン者への支援 ② 定住促進に向けた支援 ③ 新たな住宅地の確保													
取り上げた理由	① 構外に進学した若者が帰郷碧南市に就いてもらう様、碧南市の就職情報の充実、女性の活躍促進の公開など、地元で就職してもらう施策が必要である。 ② 碧南市で結婚・定住してもらうにも、新たな住宅地の早期開発やマンション建設の奨励、定住しやすくなる施策が必要である。 ③ 北部工業団地の整備が始まり、新たな雇用が生まれる事になる。労働者が碧南市に住んでもらえる様、新たな工業用地の整備と並行して住宅地の整備を早期に行う必要がある。													
<p>今後の活動</p>	<p>◎ 北部産業地及び居住地の整備が遅延することがないように、企業及び近隣住民の声を聞く中で、更なる調査研究を行い、この事業が成功するよう市に対して提言を進める。</p>													

組合員目線

【活動項目】⑥福祉・介護	【活動テーマ】 高齢者福祉の拡充（介護離職ゼロのまちづくりを目指して！）	
<p>到達目標</p>	<p>【中長期の目標】2025年にまでに向けて ・高齢者の移動手段の拡充に向け、市内循環バスの利便性の向上また、広域交通ネットワークの形成に向けて拡充を図る。 ・地域包括ケアシステムの深化及び推進を進め、地域包括支援センターの更なる充実を図る。 【29期後半期達成目標】 ・高齢者の外出促進及び、居場所づくりによる健康保持に向けた施策推進を図る。</p>	
<p>前回まで 活動状況</p>	<p>○乗り合い送迎サービス「チョイソコ」視察を実施 ・高齢者・障がい者等の交通弱者の利便性を図るために、碧南市議会内の友好会派（7名）とともに刈谷市アイシン精機（株）イノベーションセンター及び豊明市を視察。 ○ICF 情報把握・共有システムを使った発達支援システム ・ICF 情報把握・共有システム普及のための、福祉サービス事業所への費用支弁については、6月末時点で1事業所が申請し、4名に対しICF 情報把握・共有システムを使った発達支援が開始された。</p>	
<p>今回 具体的活動</p> <p>今回の進捗 【○】</p> <p>◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり</p>	<p>《会派による要望書を提出！》 令和2年9月24日（木） 市長に対し、令和3年度の予算編成に対する要望書を提出した。</p> <p>●会派要望書の内容</p> <p>○高齢者に対する支援の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型交通の整備 ・高齢者の居場所づくりへの支援 ・高齢者の終活支援 ・広域連携バスの整備 ・感染症対策の充実 ・介護施設の待機者ゼロの実現 ・介護施設の環境整備の充実 ・高齢者の事故防止対策 <p>【令和3年度予算編成に対する要望書】</p>  <p>《今回までの成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西尾市循環バスが碧南市鷺塚団地に乗り入れ開始（令和2年4月より） 待合所については今年度中に設置予定 	 <p>4月より碧南市（鷺塚団地）への乗り入れが開始された西尾市循環バス（くるりんバス）</p>
<p>今後の活動</p>	<p>◎ 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、保健・医療・福祉が連携して地域の高齢者を支えていく体制づくりを目指して一般質問等で市に対して提言を進めていく。</p>	